



「学校はすべての子供たちの可能性を引き出す舞台」

校長 青海 正

本校の校長 青海 正（あおみ ただし）と申します。本校に着任して、3年目となります。これまでの本校教育活動の伝統は、温かく学校を支えてくださっている保護者、地域及び関係機関の方々の本校に対する愛情と、歴代の校長先生をはじめとする教職員の方々の弛まぬ努力の賜物であると深く感謝しております。

今年度は、皆様にお力添えをいただき、学校と地域住民等が力を合わせて、子供たちのより良い環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を目指し、地域の声を活かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進してまいります。

また、小中一貫教育を推進する学校として、志茂田小学校をはじめ、西六郷小学校、仲六郷小学校の他、近隣小学校との連携を強化し、9年間を通じた指導を通して「学びと育ちの連続性」を確保し、大田区教育ビジョンに掲げる「未来社会を創造的に生きる子どもの育成」を目指します。

可能性に満ちあふれた生徒の皆さんと熱意と魅力ある教職員の力、そして生きた地域力を結集し、志茂田中学校の良き伝統を引き継ぐとともに、さらに進化すべく全力を尽くしてまいります。今年度も、本校の教育活動への御理解と御協力、御支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



去る4月6日（木）に始業式を、翌7日（金）には入学式を挙行し、182名の新入生を迎え、全校生徒583名で新年度が無事スタートしました。校庭をはじめ、六郷地区や多摩川河川敷などを飾る桜が、前日からの春の嵐により、目に眩しい花吹雪へとその姿を変え、まるで新入生の入学を演出しているかのようでした。

学校の新型コロナウイルス感染症対策について（これまでとの変更なし）

学校では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられ、新たな指針が出るまでは、これまで行ってきた「3つの密（密閉・密集・密接）」を避ける、「人と人との距離の確保」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」等、基本的な感染対策は継続していきます。

マスク着用の考え方の見直しについて（新学期から変更）

生徒及び教職員については、学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とします。感染不安によりマスクの着用を希望する生徒には、適切に配慮していきます。新型コロナウイルス感染症に限らず、季節性インフルエンザ等も含め、感染症が流行している場合などには、教職員がマスクを着用する又は生徒に着用を促すこともあります。そういった場合においても、マスクの着用を強いることはありません。

給食等の食事をとる場面については、引き続き、食事前後の手洗いを徹底し、飛沫を飛ばさないように注意します。適切な換気の確保、大声での会話は控える、机を向かい合わせにしない、向かい合わせの場合は対面の児童生徒の間に一定の距離（1m程度）を確保する等の措置を講じることで「黙食」は必要ないことといたします。

さらに感染リスクが比較的高い学習活動とされるグループワーク、一斉に大きな声で話す活動、理科の実験、合唱、調理実習等でもマスク着用を求めません。実施にあたっては、活動の場面に応じて一定の感染症対策を講じます。